

# 心ひとつに

弥富市立桜小学校  
学校だより  
No.11  
平成27年11月9日

## 綾名先生が立派に発表

11月6日（金）、石川県の輪島市立鳳至小学校にて、全国小学校道徳教育研究会主催の第28回中部地区小学校道徳教育研究大会が開かれました。この中部大会は、石川県、福井県、岐阜県、静岡県、愛知県の代表者が道徳教育の取り組みについて発表します。愛知県からは、岡崎市立豊富小学校と弥富市立桜小学校が選ばれました。



本校は、道徳の研究を始めて3年目になり、今年度は、伊藤綾名先生が、学校代表として10月1日に海部地区の研究発表会でも発表しました。そのときの発表に若干の修正を加え、北陸輪島の地で落ち着いて、立派な発表ができました。

発表内容は、本校が取り組んでいる、道徳の授業、桜っこしぐさ、ペア学年活動、児童集会、地域を愛する心を育てる地域清掃、地域に働きかける挨拶運動、道徳通信「心のとびら」などについてでした。

電車とバスを乗り継いでの5時間以上もかかった長旅の研修、本当にお疲れさまでした。

## 食事に感謝の気持ちを込めて

桜小の児童は、給食をほとんど残しません。全校で残滓ゼロの日も、何日かあります。好き嫌いをせずに、食べ物を大切にしている証です。

食べ物を大切に、感謝の気持ちを込めていることの表れに「食事のあいさつ」があります。私たちが食事のときに使っているあいさつ「いただきます」と「ごちそうさま」は、感謝の言葉です。「いただきます」は、「私の命のために動植物の命をいただきます」の意味です。私たちは、生きるために食事をします。数々の動物や植物を食べています。実は、食事をするという事は、動物や植物の命をもらっていることと同じです。命をいただいた動物や植物へ感謝の気持ちを表した言葉が「いただきます」です。「ごちそうさま」は、「馳走（ちそう）」に「ご」と「さま」といういいねいな言葉をつけたものです。この「ちそう」は、走るという意味です。昔はお客様を迎えるのに走り回って獲物をとって来ました。獲物をとるのは、命がけでした。その命がけの行動に「ありがとう」と心からの感謝の気持ちを表したものが「ごちそうさま」です。

動物や植物への感謝と、大変な思いをして食べ物を用意してくれたことへの感謝の気持ちを表した「食事のあいさつ」は素晴らしい言葉ですね。これからも「いただきます」「ごちそうさま」と元気な声であいさつしましょう。それと一緒に、今後も食べ物を大切にするのを忘れない桜小のみなさんでいてほしいと思います。

